

【ユニット】 行動科学と医療倫理

【ユニットディレクター】

UD：菅 理江（教養教育）

UD 補佐：米岡 裕美（教養教育） 種田 佳紀（教養教育）

【一般的な目標】

人間の行動と心理を多角的かつ階層的に理解し、特に医療場面での行動や心理に着目して理解を深める。

【具体的な目標】

1. 行動の脳内基礎過程を説明できる。
2. 行動と人の内的要因、社会・文化的環境との関係を概説できる。★S0-06-01-03
3. ジェンダーの形成並びに性的指向及び性自認への配慮方法を説明できる。★S0-04-01-02
4. 生理的動機、内発的動機及び社会的動機を概説できる。
5. 欲求とフラストレーション・葛藤との関連を概説できる。
6. 主なストレス学説を概説できる。
7. ストレス・コーピング過程に関連する心理社会的要因を説明できる。
8. 役割理論を概説できる。
9. 効果的な対人コミュニケーションを説明できる。★CM-01-01-04
10. 話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルが使える。
11. 患者の意思決定に影響を与える心理的要因を説明できる。★CM-02-03-01 ★CM-3-02-03
12. 健康に関する行動経済学の知識を活用できる。★GE-01-05-03 ★CM-3-02-03
13. 行動療法・認知行動療法を説明できる。★GE-01-05-02
14. 医療面接における患者・家族・医療者の心理を理解し、基本的なコミュニケーション技法について説明できる。★CS-01-01-01
15. 医療機関における医療安全管理体制の在り方を概説できる。★CS-05-03-01 ★CS-05-06-01

【学習方法】

本ユニットでは、1年次に学んできたことを元に、現実の生活および医療場面における行動科学・倫理の問題を学ぶ。用語の定義を覚えるだけでなく、考え方そのものや、既に学んだ原理が現実社会でどのような形で現れるのか、自分の経験にあてはめて具体的な問題として捉えられるようになることを目標としている。

1. 授業前に行う授業前課題もしくは、事前に読んでおくべき資料が指示される場合がある。これらの準備を前提に授業が行われるため、必ず実施し、提出物がある場合にはかならず期限内に提出すること。
2. 2年次では1年次で習った概念が、別の文脈で提示されることがよくある。曖昧な部分は教科書等を確認し、つながりを理解することが望ましい。不明な点は教員に質問すること。
3. 授業後に授業内容の理解を深めるため、授業後課題を課す授業もある。授業資料、授業中に自分が書き留めたノートを元に課題に取り組むこと。必ず実施し、提出物はかならず期限内に提出すること。

提出課題等へのフィードバックについて：上記の通り、本ユニットでは授業前・授業内・授業後に課題が課される授業がある。授業前課題については主に授業内で解説・講評が行われる。授業内・授業後の課題については、授業内で講評を行うか授業後に WebClass に掲載する。定期試験後の講評・解説は、試験後の補習で行われるか、WebClass に掲載される。

【評価方法】

成績：定期試験を実施する。定期試験の形式は基本的に論述式である。ユニットの成績は定期試験（90％）および提出課題（10％）で評価する。再試験は実施する。なお、1年生で学習した心理学上の概念が援用されて試験に出題されることがある。

出席：出席票あるいは授業内課題のワークシートの提出をもって出席とする。なお、出席数の不足が病気その他のやむを得ない理由によると卒前医学教育委員会が認めた場合を除き、出席数が規定時限数の75％に達しない場合は、ユニットを不合格とする。

【教科書】

- ◆ 「心理学概論第2版」岡市廣成，鈴木直人監修，青山謙二郎他編，ナカニシヤ出版，2014
- ◆ 「入門・医療倫理Ⅰ 改訂版」赤林朗編，勁草書房，2017

【参考書】

- ◆ 「ヒルガードの心理学第16版」ノーレン・ホークセマ，S他著，内田一成監訳 金剛出版，2015
- ◆ 「医療現場のコミュニケーション－医療心理学的アプローチ」上野徳美，久田満著，あいり出版，2008
- ◆ 「進化と人間行動 第2版」長谷川寿一，長谷川真理子，大槻 久 東京大学出版会，2022
- ◆ 「『医師アタマ』との付き合い方－患者と医師はわかりあえるか」尾藤誠司，中公新書ラクレ，2010
- ◆ 「LGBTを読みとく ―クィア・スタディーズ入門」森山至貴，ちくま新書，2017
- ◆ 「医療現場の行動経済学」大竹文雄，平井啓，東洋経済新報社，2018

【授業予定表】

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
行動1	04月11日	(木)	3	健康と幸福 ストレスとは何か	菅（教養教育）
行動2	04月18日	(木)	3	行動神経科学	菅（教養教育）
行動3	04月25日	(木)	3	文化と社会・ジェンダー	種田（教養教育）
行動4	05月16日	(木)	3	医師－患者関係	米岡（教養教育）
行動5	05月23日	(木)	3	自分を俯瞰する	米岡（教養教育）
行動6	05月28日	(火)	3	進化と人間行動	菅（教養教育）
行動7	05月29日	(水)	<u>3</u>	話し合いを促進する	柴崎（医学教育学） 米岡（教養教育）
行動8	05月29日	(水)	2	話しやすい場をつくる	柴崎（医学教育学） 米岡（教養教育）
行動9	11月26日	(火)	1	行動科学に基づいて医療倫理を考える	菅（教養教育）
行動10	11月26日	(火)	2	意思決定とインフォームドコンセント	種田（教養教育）
行動11	12月11日	(水)	3	医療安全Ⅰ：医療安全管理体制の概説	川井（国セ造血器腫瘍科）
行動12	01月08日	(水)	2	認知行動療法	小林（総セ神経精神科）
行動13	01月08日	(水)	3	人間性心理学とカウンセリング	小林（総セ神経精神科）
行動14	01月08日	(水)	4	医療面接	小林（総セ神経精神科）
行動15	01月09日	(木)	3	人間を理解するために	菅（教養教育）

【ユニット】

行動科学と医療倫理

【ユニットディレクター】

菅 理江（教養教育）

【コンピテンス】

- 2. 基盤となる医学知識と問題対応能力
- 3. 診療技能・患者ケア

【マイルストーン】

- 2-(3). 人間の行動と心理を多角的かつ階層的に、特に医療場面での行動や心理を踏まえて概説できる。
- 3-(1). 患者・家族・医療者の心理を理解しており、会話の基本的技法を概説できる。

【評価方法】

- 2-(3). 筆記試験
- 3-(1). 筆記試験

【補習および再評価の方法】

- 2-(3). 課題提出または口頭試問
- 3-(1). 課題提出または口頭試問